
實相院だより

令和六年八月

四三十七号

お供え

毎朝、お仏壇に、「」飯と水かお茶をお供えし、
お参りをしましよう。

「智山勤行式」を全部唱えるのが難しい方は、
「南無大師遍照金剛」と三回お唱え下さい。

○ ○

「」飯は、朝炊いた「」飯のおはつをお供えしま
す。

お供えした「」飯は、捨てずにお下がりを皆で
いただきます。

仏さま、「」先祖さまと同じ一つのものを食べ
ることで、同じ一つの命のつながりをもつこと
になります。

○ ○

果物、お菓子をお供えするときは、高壺に盛
つてお供えします。

果物とお菓子を一対にして向かって左側の
高壺が果物、右側がお菓子です。

○ ○

みえない仏さま、「」先祖さまがそこにおられ
るとお仕えする心が大切です。この姿を見て育
つた子どもや孫は、心豊かな思いやりのある人
に育つでしょう。

十四日 大今戸
十五日午前 小今戸、新屋敷
午後 浜井川方面、五城目町
十六日 湯上市、秋田市

お願い

新型コロナ感染症予防のため、お寺参りにお
越しの際は、本堂玄関での手指の消毒に「」協力
をお願いします。なお、堂内でのマスク着用は、
昨年同様、個人の判断にゆだねます。
また、十三日は気温が高くなることが予想さ
れます。熱中症対策に「」協力をお願いします。
十三日の夕方は、大変混み合います。時間を
ずらしてのお参りをお勧めいたします。

賢蔵院（十王堂）

（井川町今戸字家の後74番地）

亡くなられた方の生前の行いを審判し、死者
の来世、生まれる所を決定すると言われる十人
の王をまつるお堂が十王堂です。

實相院の過去帳に賢蔵院の庵主さんの名前
が記されており、お墓もあります。庵主さんは、
お葬式のお手伝いをされていたようです。

大正六年五月二日、賢蔵院は火災に遭い、こ
のとき、本尊阿弥陀如来像（金銅仏）を紛失し
たと伝えられています。

現在の賢蔵院は、平成十一年に新築されまし
た。本尊阿弥陀如来、釈迦如来、不動明王と両
童子、弘法大師、火災で炭化してしまった十王
像十体がまつられています。

元朝、お盆の十三日、彼岸の入り、中田、明け
は、お堂が開いております。お参りください。

お盆棚経予定

遠方の方で、お盆の棚経をお寺で希望され
る方は、供物の準備がありますので、お早め
に「」連絡をお願いします。

◎お寺での月忌經（月命日のお経）を受け付け
ております。「」相談ください。